

INFORMATION & OTHERS

シーズンクライマックスをどうぞ満喫してください!!

8月真夏のSUGOでようやくスタートした今シーズン。僅か4戦の短期決戦ですからね。あっという間にクライマックスが来てしまいました。

2度目のSUGOと前回九州で行われたIA1のトリプルヒートはみなさんご覧になりましたか?さすがに15分は短か過ぎるだろうと思ってい

た。高低差がないので、スタート横とバックストレートの観戦席が見やすいとは思いますが、トップライダーの走りを見ることがこのコース最大の魅力でもあります。ライダーの視線や息遣いをぜひ感じながらレースを楽しんでください。

レース前に掘り返されてボコボコだった路面は、走行に連れてどんどん堅く締まってコーナーとその前後にはギャップとワダチが増えていきます。その変化をどう読んで攻略するか、それが勝負の鍵になります。正にオフロードならではの醍醐味です。

モトクロスの華と言えばジャンプが上げられますが、ストレートのジャンプをハイスピードでアプローチすれば、高く上がり過ぎて次の加速が遅れてしまいます。IA2 横山遙希選手などが見てくれる「ひねり」は、それを防ぐためのテクニック。写真好きの方には絶好のシャッターチャンス。スマホで捉えられるかチャレンジするのも楽しそう。ちなみにスマホで連写するときは、画面ではなくライダーを見る感じで追うと上手く撮れると思います。

次はライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、IA1は白地に黒文字。逆に黒字に白がIA2、青地に白が

IB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の山本選手とIA2の横山選手だけが赤地のゼッケンを付けていますよね。これはレッドプレートと言ってポイントランキングトップの証。開幕戦では前年度のチャンピオンが赤ゼッケンを付けることになっているので、山本、横山両選手はこれをずっとキープし続けてきたことになります。

今年は今4戦と例年の半分になってしまったシリーズ戦。IA1のタイトル争いは、山本、横山両選手が圧倒的に有利な状況ですが、チェッカーが振り下ろされるまで何が起きるか分からないのがレース。レディスやIA昇格がかかったIBクラスも最後の最後まで目が離せません。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じて、お持ちのスマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

公式プログラムのエントリーリストとライダーのゼッケンとマシンの色を照らし合わせるのと徐々に誰が誰か分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ずーっとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、出店や展示ブースは必見です。特にホンダブースには、新型のCRF250LとCRF250RALLYが展示されるとのこと。CRF250RALLYは国内初展示とのことなので、ぜひチェックしてくださいね。

応援フラッグやポスターは、今大会

冠婚葬祭の応援スタイルを伝えるよ!!

大歓声を上げたり腕を振り回すなど大きなアクションをしてはいけません。最初はどんな雰囲気になるのか正直不安でした。でも大勢の応援のおかげで、何より今までの大会よりも楽しんでいます。この大会は、どのクラスも見どころがあり、観戦の楽しさを感じたいと思います。ぜひ応援してください。

んですが、スタートからゴールまでバト

ルに次ぐバトルがなかなか面白い。来シーズンについてはこれから協議されるようですが、ぜひ来年もやって欲しいし見て欲しいレースフォーマットです。

11月末というかつてない遅い時期にずれ込んだ最終戦。例年なら夕暮れのパドックで行われるタイトル決定のセレモニーも、果たして観客のみなさんに見て貰えるのかどうか。それでもまずは開催して貰えたことに感謝です。

そしてなんとこの窮地を乗り越えて、来年は思う存分楽しめるように、ファンもライダーもスタッフさんもみんなで協力しましょう。

感染者数の増加やクラスターなど、嫌なニュースが再び多くなっています。万が一会場内でクラスターが発生なんてことになったら、今後の開催も危うくなってしまいます。くれぐれも、感染拡大防止のガイドラインに沿って観戦

群馬県高崎市中原町456-4 TEL.027-361-0222

国内4メーカー KTM, TRIUMPH 他 正規取り扱い

全日本モトクロス OB 城田賢一が店長やっています!

国道17号線前橋ICそば 営業時間 9:00~19:00 (月曜定休)

HP:motoshop-shirota.jp

モトクロスを応援しています!!

レーシングチーム鷹 & 星野優位 頑張れ!!

エコロジテム株式会社

埼玉県川口市柳崎2-19-38 048-263-7611 www.echo-logitem.com

Arai HELMET

安全性能の追求!

株式会社アライヘルメット 平330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12 TEL.(048)641-3825 http://www.arai.co.jp/

IRIDING SPOT

PERFORMANCE PRODUCTS

モータースーツからツーリングまで バイクライフをサポートする

(有)ライディングスポット 横浜市戸塚区上倉田1767 Tel.045-862-4878

suspension service **Technix** WWW.technix.jp



PREVIEW-Off Road Village 開幕から8ヒートを戦って5勝。圧倒的な強さで連覇に王手をかけ地元埼玉に帰ってきたディフェンディングチャンピオン#400山本 鯨、優勝で連覇に華を添えられるか?! Photo/T.Yasukouchi

新型コロナウイルス感染拡大の影響で変則スケジュールとなった今シーズンの全日本モトクロス選手権。シリーズ第6戦(最終戦)は、11月28~29日に埼玉県川越市のウエストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。連覇に向かって盤石の走りを見せるIA1クラス山本 鯨とIA2クラス横山遥希、悲願の初タイトルに王手をかけたLMXの川井麻央はいずれも埼玉で生まれ育ったライダー。地元での戴冠へ、ファイナルバトルに熱い視線が注がれる!!

国内最高峰クラス2年連続3度目のタイトルに挑む山本

新型コロナウイルス感染拡大の影響でスケジュールが大幅に変更された成田 亮 (#982 / ホンダ) が自身のトラブルで欠場となったのは非常に残念だが、ランキング上位の4人はいずれも20代のライダー。新たな時代を築こうと懸命に力を伸ばしてきたトップライダーたちの全力バトルをまずは堪能して欲しい。

連覇に挑むチャンピオン横山との若さ溢れるバトルに注目 IA2

速度を維持しながら飛距離を抑えるためにジャンプでマシンを捻るスクラブというテクニック。アグレッシブなライディングをトレードマークにIA2クラスを席巻しているのがカワサキワークスの横山遥希 (#1) だ。開幕戦第1ヒートこそ転倒で5位に甘んじたものの、横山はそこから5連勝をマークしてリアルに付け入る隙を与えない。

懸命に横山を追う大城魁之輔 (#36 / ホンダ) や大倉由揮 (#31 / ヤマハ)、浅井亮太 (#41 / ヤマハ)。開幕戦でクラス初優勝を飾った内田篤基 (#39 / スズキ) や26歳でこのクラス最年長の小川孝平 (#912 / カ

マナーを守って楽しく観戦しよう!

1. 入場時には検温と体調チェックに協力
2. マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3. 声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4. ソーシャルディスタンスを確保しよう!

ワサキ)に加えて、ヤマハの中島 漱也 (#01) や袴田哲弥 (#02)、小笠原大貴 (#04) ら10代のルーキーたちがチャンピオン横山を相手にどう戦うか、フレッシュなバトルに期待が高まる。

なるかパーフェクトシーズン!? 全勝川井に挑む本田と久保

開幕戦で3年ぶりの優勝を飾ると、一気に波に乗って3連勝をマークした川井麻央 (#3 / ホンダ)。地元での初戴冠を目指す川井に対し、このまま引き下がるわけに行かないのがディフェンディングチャンピオンの本田七海 (#1 / ヤマハ) だ。ここまで2-3-2位を席巻しているのがカワサキワークスの横山遥希 (#1) だ。開幕戦第1ヒートこそ転倒で5位に甘んじたものの、横山はそこから5連勝をマークしてリアルに付け入る隙を与えない。

2020 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦	SUGO大会	8月29~30日	宮城県 / スポーツランドSUGO
第2戦	近畿大会	中止	奈良県 / 名阪スポーツランド
第3戦	SUGO大会	10月3~4日	宮城県 / スポーツランドSUGO
第4戦	中止	10月30~11月1日	
第5戦	MFJ-GP	11月14~15日	熊本県 / HSR九州
第6戦	関東大会	11月28~29日	埼玉県 / オフロードヴィレッジ

全日本モトクロス選手権 第6戦 関東大会 開催おめでとうございます。

HONDA **YAMAHA** **SUZUKI** **Kawasaki**

Revs Your Heart

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。